

伝統の中にモダニズムを追求した新しい萩焼製品

■支援の概要

山口県の伝統的な焼き物である萩焼は、大道土（防府市）と見島土・金峰土（萩市）を主原料としていますが、大道土が使用されていなかった初期の萩焼は“古萩”として区別されています。

萩焼窯元の一佳窯は、古萩のように大道土を主原料としない萩焼製品の開発に取り組んでおり、下関市豊北町の周辺地域で採取した原料を用いて新しい萩焼製品を開発しました。

■支援の項目

- ① 蛍光X線分析法による原料の成分分析と鉱物組成解析（CIPWノルム計算）の実施
- ② 最適な組成バランスを有する原料の選定と萩焼製品の試作

【1】 蛍光X線分析法による原料の成分分析と鉱物組成解析



【2】 最適な組成バランスを有する原料の選定と萩焼製品の試作



採取した原料を用いて試作した萩焼製品

■支援の成果

下関市豊北町の周辺地域で採取された原料から最適な鉱物組成（粘土・珪石・長石・酸化鉄）のバランスを有する原料を選定し、この原料を主原料とした新しい萩焼製品を作りました。